

☆ 登録・設置説明書 (黄色紙) を先にお読みください。

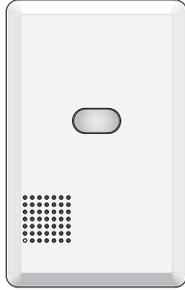
無線式 住宅用火災移報アダプタ

取扱説明書 保証書付 保管用

〔適用機種〕

FSOJ001B-S

③本体の裏面および側面の銘板に記載しています。



無線式 住宅用火災警報器に
ワイヤレス連動

火災移報出力 (1a 接点)

電池式 (10年※タイプ)

※ 使用温度や電波環境などの外部環境や使用条件により、短くなることがあります。

このたびは、NOHMI 製品をお買い上げいただきありがとうございます。

- お取り付けは、黄色紙【登録・設置説明書】に従い、正しく設置してください。
- ご使用前に必ずこの【取扱説明書】をお読みいただき、大切に保管してください。

お客様ご相談窓口

0570-091-333 (受付時間: 24時間・365日)

一般電話・公衆電話からは、市内通話料金でご利用いただけます。
ナビダイヤル。ただし、PHS・その他一部の電話機からはご利用いただけません。

保証書

型式 FSOJ001B-S

保証期間 お買い上げ日から1年間

お買い上げ日 年 月 日

お客様
ご住所
お名前
電話
販売店
住所・店名
電話

保証規定

- 保証期間は、お買い上げ日から1年間です。
- 取扱説明書および登録・設置説明書に記載している注意に従った正常なご使用状態において、保証期間内に故障した場合は、無償交換させていただきます。
 - (イ) 無償交換のご依頼は、お買い上げの販売店にお申しつけください。
 - (ロ) お買い上げの販売店にご依頼できない場合には、「お客様ご相談窓口」にご相談ください。
 - (ハ) 本機は持込修理(交換)の対象商品です。郵送などで修理(交換)依頼された場合の送料などは、お客様の負担となります。
- 保証期間内においても、次のような場合には有償とさせていただきます。
 - (イ) 取扱上および使用上の誤りによる故障および損傷
 - (ロ) 不当な改造や修理による故障および損傷
 - (ハ) お買い上げ後の輸送、移動、衝撃、落下などによる故障および損傷
 - (ニ) 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変および公害、塩害、ガス害や異常電波および電磁波などによる故障および損傷
 - (ホ) 車両、船舶などに搭載して使用された場合に生じた故障および損傷
 - (ヘ) 業務用など一般家庭用以外に使用されて生じた故障および損傷
 - (ト) 油污れなどによる機器の機能劣化、故障および損傷
 - (チ) 取付場所が不適切で、住戸環境による影響により電池が消耗した場合
 - (リ) 本書のご提示がない場合
 - (ス) 本書にお買い上げ日、お客様名、販売店名の記入がない場合、あるいは字句を書き替えられた場合
 - (ル) 出張サービスをご要望された場合の出張に要する費用
- 本保証書は日本国内においてのみ有効です。
(This warranty is valid only in Japan.)
- 本保証書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。

○お客様にご記入いただいた個人情報は、保証期間内の無償交換対応のほか、アフターサービスおよび各種サービスに関する連絡並びにお客様個人が特定されない形での統計上の目的のために使用させて頂く場合がございますのであらかじめご了承ください。

○保証期間経過後の補修用性能部品(専用リチウム電池など)の保有期間および購入については、お買い上げの販売店または「お客様ご相談窓口」にご相談ください。

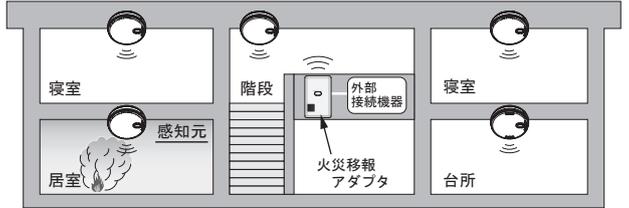
NOHMI 能美防災株式会社

本社 〒102-8277 東京都千代田区九段南 4-7-3
URL <https://www.nohmi.co.jp/>

NOHMI は、能美防災株式会社の登録商標です。

ご使用前に

- 本機は住宅用です。消防法に規定された以下の設備には使用できません。
〔「自動火災報知設備」、「特定小規模施設用自動火災報知設備」〕
〔共同住宅用自動火災報知設備〕、〔住戸用自動火災報知設備〕
- 本機は電波法で定める技術基準適合品です。
- 本機を使用するには、設定および登録のほか、電波状態の確認が必要です。別添する黄色紙【登録・設置説明書】に従い、正しく設置してください。
- 連動可能な警報器は、無線式連動型住宅用火災警報器 FSKJ226、FSLJ016 シリーズなどです。
単独型(非連動型)警報器、自動火災報知設備用感知器および他社製品との連動はできません。
- 本機は、無線式連動型住宅用火災警報器(以下、警報器)に連動して火災移報出力する機器です。
警報器が火災を感知し警報を発すると、無線で連動して火災移報します。
③使用する前に、警報器(親器)へ登録する必要があります。
詳細は、黄色紙【登録・設置説明書】を参照してください。
④警報器(親器)に登録できる台数は、警報器(子器)とあわせて15台までです。
⑤警報器については、警報器の「取扱説明書」を参照してください。



- 本機は、煙または熱を感知して警報する無線式連動型住宅用火災警報器に連動して、火災移報出力を行う機器です。火災を感知・防止する機器ではありません。火災などによる損害および本書に従わず設置された場合の事故や故障については、責任を負いかねますのでご了承ください。
- 商品を正しく安全にお使いいただくため、この【取扱説明書】にはさまざまな注意事項を記載しています。以下の注意表示をよく理解してから本文をお読みください。

警告 取り扱いを誤った場合に、取扱関係者が死亡または重傷を負うか、警報機能の一部に重大な悪影響を及ぼす可能性がある場合。

- 注意**
 - 以下のような場合は警報に気づかないことがあります。(火災警報音“無”設定の場合、火災警報は鳴動しません)
 - ・薬の服用後または飲酒後に就寝した場合
 - ・交通、ステレオ、ラジオ、エアコンなどの騒音が大きい場合
- 分解禁止**
 - 分解・改造の禁止
本機は、電波法で定められた無線設備の技術基準適合品です。技適マーク(㊿)を貼付された商品は総務大臣の許可なしに改造して使用することはできません。
③改造すると法律により罰せられることがあります。
- 禁止**
 - 落下などにより衝撃を与えた機器は使用しない。
針金などの異物を混入しない。
正常に火災移報できないおそれがあります。
 - 電池切れ・電波異常の機器は使用しない。
火災時に火災移報できないおそれがあります。
- 必ず守る**
 - 取付ネジや専用リチウム電池の取り扱いは、乳幼児や子供の手の届かない場所で行う。
誤飲またはケガのおそれがあります。
 - 高所の操作および作業は、安定した台に乗って行う。
転倒してケガをするおそれがあります。

注意 取り扱いを誤った場合に、取扱関係者が傷害を負うか、物的損害が発生する危険な状態が生じる可能性がある場合、または警報機能の一部に悪影響を及ぼす可能性がある場合。

- 禁止**
 - ぬれた手で電池コネクタを接続しない。
感電するおそれがあります。
- 禁止**
 - 音響孔をテープなどでふさがない。
充分な火災警報音※が確保できないおそれがあります。また、電池切れ、電波異常警報も聞こえなくなります。
※火災警報音“有”設定時
- 必ず守る**
 - 専用リチウム電池のコネクタは奥までしっかりと差し込み、確実に接続する。
コネクタ接続が不十分な場合、発熱や正常に動作しないおそれがあります。
 - 本機や警報器の移設、家具などの移動後は必ず点検をする。
電波状態が変化し、火災時に火災移報できない場合があります。

1 各部の名称とはたらき



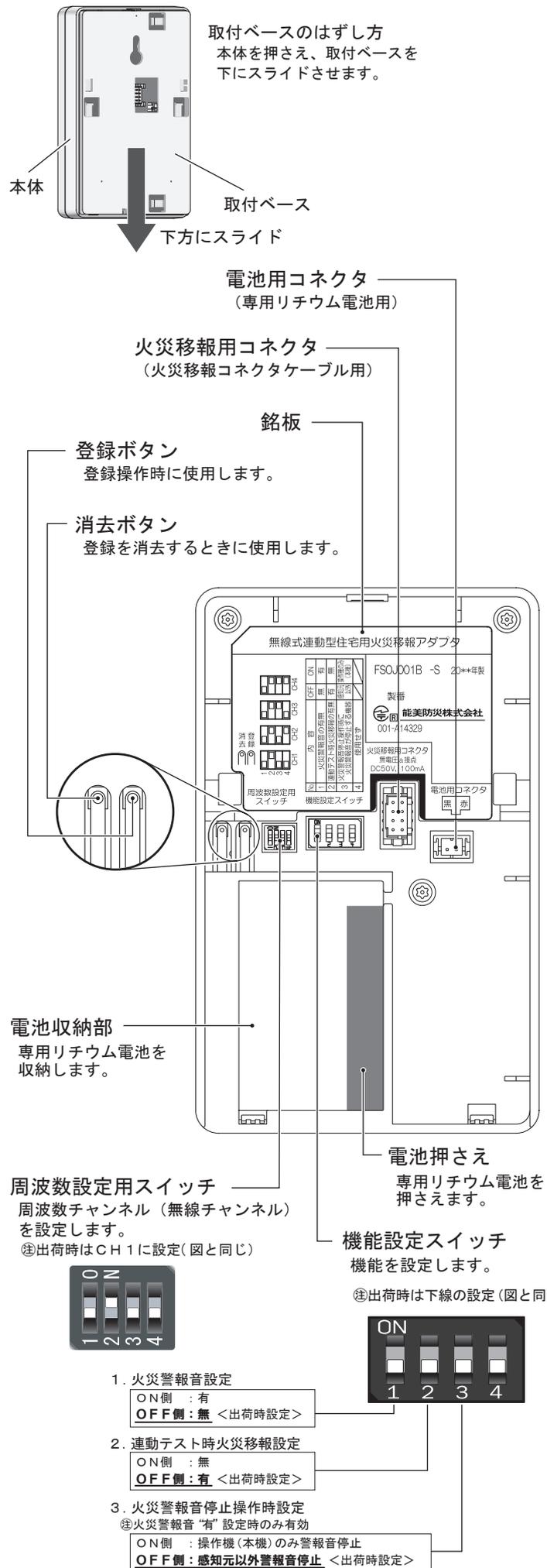
※『警報停止／テスト』シール、登録番号表示シール、操作説明シールは付属品です。
別添する黄色紙【登録・設置説明書】に従って、機器に貼り付けてください。

表. 警報の種類

警報項目	警報音(音声)	表示灯	火災移報 接点
通常 (正常時)	—	—	OPEN
火災連動 警報器が 火災警報 したとき	<火災警報音“無”設定時> 無音	[橙] 連続点滅	CLOSE
	<火災警報音“有”設定時> ビー ヒュー ヒュー ○番 火事です		
電池切れ	ビポッ電池切れです (約30分ごとに2回) ビポッ (約1分ごと)	[赤] 1+4回点滅 (ビポッ同期) (約1分ごと)	OPEN
電波異常	ビッピ電波異常です (約30分ごとに2回) ビッピ (約1分ごと)	[橙] 2回点滅 (ビッピ同期) (約1分ごと)	OPEN

●火災連動時の火災警報音「有／無」設定は、設定を変更していない場合、
“無”に設定してあります。警報音を必要とする場合は、本体裏面の
機能設定スイッチで設定を変更してください。

●「○番」には、火災を感知した感知元警報器の登録番号0～15が鳴動します。



●周波数設定、機能設定、登録、消去などの設定および取付方法については、
別添する黄色紙【登録・設置説明書】を参照してください。

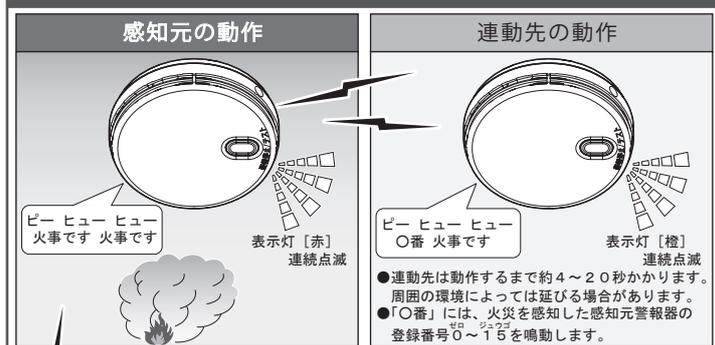
2 各警報について

2.1 火災警報「ピーヒューヒュー 火事です 火事です」

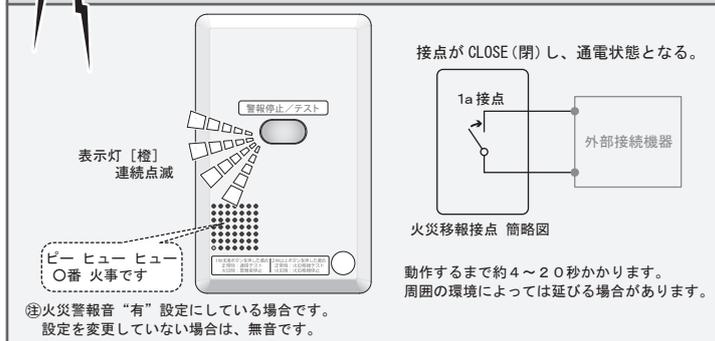
警報器の火災警報時に、連動して表示灯〔橙〕が連続点滅し、火災移報します。

- 火災警報音“有”に設定している場合は、警報音も鳴動します。

警報器の警報動作



火災移報アダプタの警報動作 (火災連動動作)



火災のとき

本機が火災連動動作をしたときは、感知元の警報器を確認し、119番へ通報するなどの対処をしてください。約5分後に感知元の警報器に煙または熱がない場合は、本機は自動的に火災連動動作を停止します。

- 火災移報アダプタに接続している外部接続機器によっては、本機が火災連動動作を停止しても動作を保持するものがありますので、接続している外部接続機器の「取扱説明書」などをご確認ください。

火災でないとき

火災以外で警報器が作動し、本機が火災連動動作をする場合、**4 故障かな?と思ったら**を参照のうえ、対処してください。

火災警報音を停止するには (火災警報音“有”設定時)

火災警報音は以下の3つの方法で停止することができます。

- ① 感知元警報器の『警報停止/テスト』ボタンを短押し (1秒未満) する。
- ② 連動先警報器の『警報停止/テスト』ボタンを短押し (1秒未満) する。
- ③ 本機の『警報停止/テスト』ボタンを短押し (1秒未満) する。

- ①の操作で、本機は火災連動動作 (火災移報出力) を停止します。
- ②③の操作では、本機は火災警報音のみを停止します。
- 火災警報音停止操作後、約5分経過後も感知元の警報器が火災を感知し続けている場合や、他の警報器が火災を感知したとき、本機は再度火災連動動作をします。
- ③の操作で停止した場合、機能設定により動作が以下のように変わります。

<機能設定スイッチの3番が“OFF”側の場合>(出荷時設定)

⇒ 感知元の警報器以外の警報器および火災移報アダプタが火災警報音を停止します。

<機能設定スイッチの3番が“ON”側の場合>

⇒ 操作した機器 (本機) のみ火災警報音を停止します。

(機能設定方法については、黄色紙【登録・設置説明書】を参照してください。)

火災連動動作 (火災移報出力) を停止するには

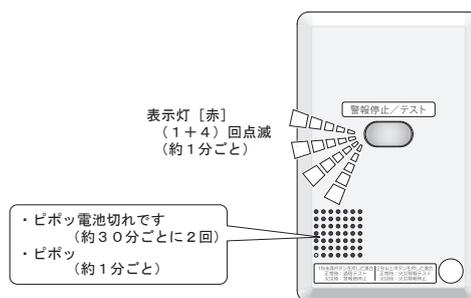
本機は以下の2つのうちいずれかの方法で火災連動動作を停止することができます。

- ① 感知元警報器の『警報停止/テスト』ボタンを押す。
- ② 本機の『警報停止/テスト』ボタンを長押し (2秒以上) する。

- ①の操作後、約5分経過後も感知元の警報器が火災を感知し続けている場合や、他の警報器が火災を感知したときは、再度火災連動動作をします。
- ②の操作は、本機が火災警報音を鳴動していないときのみ有効です。火災警報音を鳴動している場合は、火災警報音を停止してから操作してください。なお、火災連動動作を停止しても、他の警報器が新たに火災を感知したときは、再度火災連動動作をします。

2.2 電池切れ警報「ピポッ 電池切れです」

専用リチウム電池の電池電圧が低下して電池の寿命が近づくと、以下のような警報音と表示灯により、お知らせします。



電池切れが発生したら

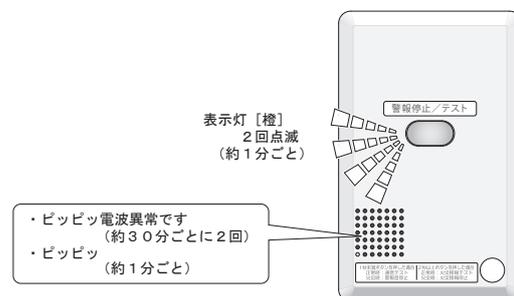
- 販売店にご相談のうえ、すみやかに新しい火災移報アダプタまたは電池と交換してください。
- 本機を交換する場合は、警報器 (親器) から本機の登録を消去し、新しい火災移報アダプタを警報器 (親器) に登録してください。(黄色紙【登録・設置説明書】を参照してください。)
- 機器または電池を交換した場合は、正常に動作するか、テストを行ってください。テスト方法は、**3.2 機能を確認する** の **① 通信テスト** を参照してください。

電池切れ警報音を停止するには

- 『警報停止/テスト』ボタンを押すと音声で電池切れをお知らせし、約24時間警報音が停止します。
- 警報音停止中は、表示灯〔赤〕が約10秒ごとに1回点滅します。『警報停止/テスト』ボタンを押すごとに音声で電池切れをお知らせし、最後の操作から約24時間警報音を停止します。

2.3 電波異常警報「ピッピッ 電波異常です」

警報器 (親器) ↔ 火災移報アダプタ間の電波状態を定期的に自己診断し、電波状態に異常があった場合は、以下のような警報音と表示灯により、お知らせします。



電波異常が発生したら

- **3.2 機能を確認する** の **① 通信テスト** を参照し、電波異常警報中の火災移報アダプタをテストのうえ、**対処方法** に従って対処してください。

電波異常警報音を停止するには

- 『警報停止/テスト』ボタンを押すと通信テストを行い、電波異常が継続している場合は、音声で電波異常をお知らせし、約24時間警報音が停止します。電波異常が回復している場合は、電波異常警報は終了します。
- 警報音停止中は、表示灯〔橙〕が約10秒ごとに2回点滅します。
- 電波異常が継続中の場合は、『警報停止/テスト』ボタンを押すごとに、通信テスト後、音声で電波異常をお知らせし、最後の操作から約24時間警報音を停止します。

 禁止	<p>電波異常のまま放置しない。 火災時に連動鳴動しないおそれがあります。</p>
 注意	<ul style="list-style-type: none"> ●火災移報アダプタは10年で交換 10年を超えて使用すると、内部の電子部品の劣化により、正常に動作しなくなる場合があります。設置後10年経過後は、すみやかに新しい火災移報アダプタに交換してください。また、警報器についても、設置後10年を経過している場合は、忘れずに交換してください。正常に動作しなくなる場合があります。 ●各警報の優先順位 同時に複数の警報要因が発生している場合は、優先順位の高い警報を行います。 <p style="text-align: center;"> 高い ①火災連動動作 優先順位 ↓ ②電池切れ警報 低い ③電波異常警報 </p>

3 定期点検（お手入れとテスト）

正常に動作することを確認するため、定期点検を必ず行ってください。

3.1 お手入れ（外観を確認する）

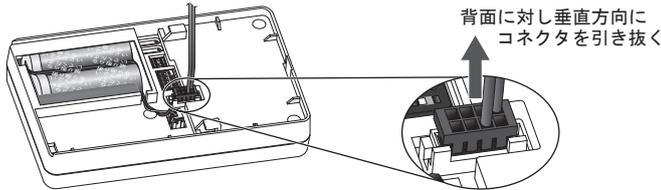
12ヶ月に1回程度、本機の掃除を行ってください。

①本体を取りはずす

1. 本体部分を壁面に軽く押しつけながら、図示の方向にスライドさせます。（取付ベースは壁面に残してください。）



2. 火災移報コネクタケーブルのコネクタ部をつかみ、まっすぐに引き抜きます。



必ず守る 勢いよくはずさない。
火災移報コネクタケーブルが断線したり、短絡して外部接続機器が作動するおそれがあります。
また、本機および外部接続機器が故障する原因にもなります。

②お手入れをする

注意 警報音が鳴ることがあります。
『警報停止/テスト』ボタンが押されると、警報音が鳴る場合がありますので、『警報停止/テスト』ボタンに触れないよう注意して作業してください。

本体が汚れたら、布を水または中性洗剤に浸し、十分に絞ってから拭き取ってください。
裏面については、拭き取る必要はありません。



分解禁止 分解の禁止
機器内部は精密に調整されていますので分解しないでください。正常に動作できなくなるおそれがあります。

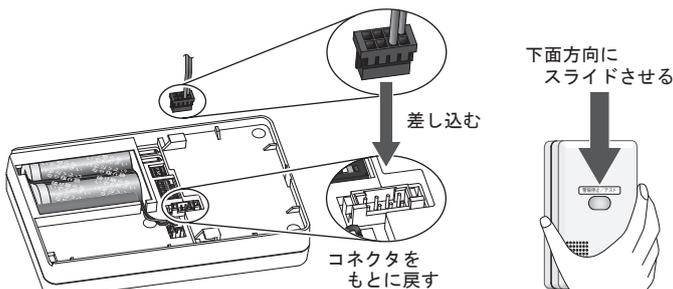
禁止 ●水洗いの禁止
内部に水が入らないよう気をつけてください。内部回路がショートして動作できなくなるおそれがあります。

●薬品の使用禁止
ベンジン・シンナーやアルコールなどの化学薬品で拭き取らないでください。樹脂が変形したり劣化して割れることがあります。

③もとに戻す（お手入れ後）

お手入れ後は、火災移報コネクタケーブルを本体裏面の火災移報用コネクタに接続し、本体をもとに戻して通信テストと火災移報テストをしてください。
⇒ 3.2 機能を確認する 参照

- 本体表面が乾いてから取り付けてください。
- 電池のコネクタが奥まで確実に差し込まれていることを確認してください。
- 火災移報用のコネクタがしっかり挿入されていることを確認してください。
- 本体は、もとの取り付け場所（部屋）に取り付けてください。（異なる場所に取り付けた場合、連動動作しないことがあります。）



- コネクタは、図の向きに差し込んでください。向きが異なると差し込めないか、機器が破損するおそれがあります。

3.2 機能を確認する

機能確認には、以下の3つのテストがあります。

- ①通信テスト（警報器（親器）との通信および本機の状態を確認する）
- ②火災移報テスト（火災移報接点が発作するか確認する）
- ③警報器からの連動テスト（警報器に連動して動作するか確認する）

①通信テスト（推奨点検頻度：1ヶ月に1回、または、3日以上留守にされたとき）

必ず守る 操作は、音声が届くのを待って、1台ずつ確実に。正常に確認ができないおそれがあります。

本機を以下の要領でテストしてください。

テスト結果が正常以外の場合は「対処方法」に従って対処してください。

1. 『警報停止/テスト』ボタンを短押し（1秒未満）します。



操作音が「ビビ」と鳴り、表示灯〔緑〕が点灯してテストを開始します。

テスト結果は、状態に合わせて下表のように鳴動します。

（正常・電波異常の場合は、鳴動に約20秒かかります。）

電波異常のときは、通信ができない0番（警報器（親器）番号）を鳴動します。

テスト結果

結果	警報音（音声）	表示灯	対処No.
正常	<火災警報音“無”設定時> ○番 正常です	〔橙〕連続点滅 (正常ですのち、約5秒間)	—
	<火災警報音“有”設定時> ○番 正常です ピー ヒュー ヒュー 火事です 火事です	〔橙〕連続点滅 (火災警報中)	—
電池切れ	○番、ピポッ電池切れです	〔赤〕1+4回点滅 (ピポッと同期)	1
電波異常	○番 ビッビッ電波異常です、0番	〔赤・橙・緑のいずれか〕 2回点滅 (ビッビッと同期)	2
警報器（親器）に未登録	99、ピピピピ	消灯	3
通信処理中 など	ピピピピ	消灯	4
故障など	無音	無灯	5

- 「0番」には、テストした本機の登録番号1～15が鳴動します。
(イチ、ニ、サン、ヨン、ゴ、ロク、ナナ、ハチ、キュウ、ジュウ、ジュウイチ、ジュウニ、ジュウサン、ジュウヨン、ジュウゴ)
- 「正常」および「電波異常」は、「0番」のあとに約20秒間の無音状態が継続します。

対処方法

対処No.	対処方法
1	電池電圧が低下して電池の寿命が近づいています。 販売店にご相談のうえ、すみやかに新しい火災移報アダプタまたは電池と交換してください。
2	登録した警報器（親器）との通信ができないか、弱電波です。 表示灯の色を確認して適切に対処してください。 〔赤〕：警報器（親器）からの電波が届かないか、受けられません。 1) 以下を確認します。 ・警報器（親器）が監視状態であること ・周波数（無線チャンネル）設定が警報器（親器）と同じになっていること 2) 周りの家電製品やOA機器を移動させます。 3) 再度テストしてください。 改善しない場合は、連動しているすべての機器の周波数（無線チャンネル）設定を変更してください。 〔橙〕：周りに連動に支障をきたす電波が存在しています。 1) しばらくしてから再度テストをしてください。 頻繁に起きる場合は、連動しているすべての機器の周波数（無線チャンネル）設定を変更してください。 〔緑〕：警報器（親器）から届く電波が弱く連動しにくい状態です。 1) 本機の取付位置を電波の届きやすい位置へ移動させます。 2) 再度テストしてください。 ●周波数（無線チャンネル）設定や設置については、黄色紙【登録・設置説明書】を参照してください。
3	警報器（親器）に未登録の状態です。 警報器（親器）に登録をしてください。 ●詳細は、黄色紙【登録・設置説明書】を参照してください。
4	内部処理中のため、テストが起動できませんでした。 しばらくしてから再度テストをしてください。
5	電池がはずれているか、故障している可能性があります。 電池コネクタがはずれていたり、ゆるんでいる場合はコネクタをしっかりと挿入してください。コネクタ部に問題がない場合は、販売店または「お客様ご相談窓口」にご相談のうえ、すみやかに新しい火災移報アダプタに交換してください。

② 火災移報テスト (推奨点検頻度: 12ヶ月に1回)

注意

外部接続機器により遮断などの操作をする。
火災移報テストは火災移報接点がCLOSE(閉)、本機に接続している外部接続機器が作動します。
通報装置などに接続している場合は、接続している外部接続機器の「取扱説明書」などを確認のうえ、遮断するなど事前に準備をしてください。

本機を以下の要領で操作しテストしてください。

1. 『警報停止/テスト』ボタンを長押し(2秒以上)します。



操作音が「ビビ」と鳴り、表示灯[緑]が点灯します。そのまま約2秒以上ボタンを押し続けると、「ビ」と鳴り、下記の動作をします。

<警報器(親器)に登録済みの場合>

下表の動作とともに火災移報接点が約15秒間※CLOSE(閉)します。
※再度『警報停止/テスト』ボタンを押すと途中で停止します。

警報音(音声)	表示灯	火災移報接点
<火災警報音“無”設定時> 無音	[橙] 連続点滅 (約15秒間)	CLOSE (約15秒間)
<火災警報音“有”設定時> ビー ヒュー ヒュー 火事です 火事です (3回繰り返す)		

●電池切れ警報および電波異常警報時でも火災移報の確認ができます。

<警報器(親器)に未登録の場合>

警報音(音声)	表示灯	火災移報接点
99、ビビビビ	消灯	OPEN

●警報器(親器)に未登録の場合は、火災移報テストができません。
黄色紙【登録・設置説明書】を参照のうえ、登録作業をしてください。

<通信処理中などの場合>

警報音(音声)	表示灯	火災移報接点
ビビビビ	消灯	OPEN

●内部処理中のため、テストが起動できません。
しばらくしてから再度テストをしてください。

注意

火災移報テストは火災移報機能のみを確認しています。
火災移報テストは火災移報が機能しているか確認をすることができませんが、機器の状態(電池切れ・電波異常)などを確認することはできませんので、必ず定期的に通信テストを行ってください。

③ 警報器からの連動テスト (推奨点検頻度: 12ヶ月に1回)

このテストは、警報器の連動テスト操作により行います。
警報器の連動テストを実施することにより、本機が警報器に連動して動作するかを確認できます。(すべての機器が連動して動作します。)
グループ登録している警報器のいずれか1台を以下の要領で操作しテストしてください。

1. 『警報停止/テスト』ボタンを長押し(2秒以上)します。(引きひもがある場合は、引きひもでも操作できます。)

警報器から操作音が「ビビ」と鳴り、表示灯[緑]が点灯します。そのまま約2秒以上ボタンを押し続けると、「ビ」と鳴り、火災警報を鳴動します。その後、約4~20秒後※に本機は連動して、約15秒間火災連動動作をします。



火災連動動作は、表示灯[橙]が連続点滅するとともに、機能設定スイッチの設定状態に応じて下記の動作をします。
※周囲の環境によっては延びる場合があります。
●電波異常警報を発している場合でも連動する場合があります。

<火災警報音について>

●本体裏面の機能設定スイッチの設定状態で動作が異なります。

火災警報音の有/無 設定	警報音(音声)
無:OFF側 (出荷時設定)	無音
有:ON側	ビー ヒュー ヒュー ○番 火事です (3回繰り返す)

●「○番」には、火災を感じた感知元警報器の登録番号0~15が鳴動します。

<火災移報について>

●本体裏面の機能設定スイッチの設定状態で動作が異なります。

連動テスト時 火災移報の有/無 設定	火災移報接点
有:OFF側 (出荷時設定)	CLOSE
無:ON側	OPEN

●火災移報の有/無設定は、警報器からの連動テスト時のみ有効です。
警報器が火災を感じた場合や、本機の火災移報テスト時は、火災移報出力します。

注意

●連動テストはすべての機器が火災警報を鳴動します。
※本機は火災警報音“有”設定時
連動テストをするときは、周囲の迷惑にならないよう夜間を避けてください。
●警報器からの連動テストは連動機能のみを確認しています。
警報器からの連動テストは連動機能の確認をすることができますが、機器の状態(電池切れ)などを確認することはできませんので、必ず定期的に通信テストおよび火災移報テストを行ってください。

4 故障かな?と思ったら

故障かな?と思ったら、下表の対処をしてください。

下表のとおりに対処しても異常がある場合は、**お買い上げの販売店に連絡するか、「お客様相談窓口」にお問い合わせください。**

症状	原因	対処
火災ではないのに火災連動動作をする。	次のような煙または熱が警報器にかかっていますか? <煙式警報器が作動する要因> ・くん煙式または加熱蒸散式殺虫剤を使用した場合 ・スプレー式殺虫剤や化粧品スプレーなどが直接かかった場合 ・タバコの煙を直接吹きかけた場合 ・調理の煙や水蒸気などがかかった場合 ・線香や蚊取り線香などの煙を大量に発生させた場合 ・その他火災でない大量の煙やダストがかかった場合 <熱式警報器が作動する要因> ・ストーブの直上など60℃以上の熱を感じた場合	感知元の警報器で警報停止操作をし、換気をするなどして警報の要因を取り除いてください。 ●連動先の警報器で警報停止操作をしても、本機の火災移報出力は停止しません。
専用リチウム電池のコネクタがはずれていたり、奥まで差し込まれていない状態ではありませんか?	専用リチウム電池のコネクタがはずれていたり、奥まで差し込まれていない状態ではありませんか?	コネクタを奥まで差し込んでください。
火災連動動作をしない。	専用リチウム電池の寿命ではありませんか? 新しい火災移報アダプタまたは「電池切れ警報」が鳴っていませんか? 火災移報コネクタケーブルのコネクタがはずれていたり、奥まで差し込まれていない状態ではありませんか? 火災移報コネクタケーブルの導線側が外部接続機器の端子にしっかり接続されていますか? 外部接続機器の設定が誤っていたり、故障していませんか?	新しい火災移報アダプタまたは電池と交換してください。 コネクタを奥まで差し込んでください。 外部接続機器を確認してください。 外部接続機器の「取扱説明書」を確認してください。
火災警報が鳴らない。	機能設定スイッチ1番(火災警報音)が“無”になっていませんか?	スイッチを“有”に切り替えてください。
警報器からの連動テスト時に火災移報ができない。	機能設定スイッチ2番(連動時の火災移報)が“無”になっていませんか?	スイッチを“有”に切り替えてください。

5 仕様

症状	原因	対処
約1分間隔で「ピポッ」と鳴り、表示灯[赤]が(1+4)回点滅する。	[電池切れ警報] 電池電圧が低下して電池の寿命が近づいています。	新しい火災移報アダプタまたは電池と交換してください。
約10秒間隔で表示灯[赤]が1回点滅する。	[電池切れ警報]の警報音を停止中です。	
約1分間隔で「ピッピッ」と鳴り、表示灯[橙]が2回点滅する。	[電波異常警報] 電波異常により通信が正常にできません。	通信テストをしてください。 表示灯が[赤]、[橙]、または[緑]で2回点滅しますので、状態にあわせて対処してください。 ⇒ 3.2 機能を確認する の [対処方法] 対処No. 2 参照
約10秒間隔で表示灯[橙]が2回点滅する。	[電波異常警報]の警報音を停止中です。	
表示灯[橙]が連続点滅している。	火災移報中です。	火災でない場合は『警報停止/テスト』ボタンを2秒以上押し続けて火災移報を停止してください。
感知元警報器で警報停止操作をしても火災移報を停止することができない。	感知元警報器からの停止信号が受信できていない可能性があります。	本機が火災警報音を鳴動していない状態で、『警報停止/テスト』ボタンを2秒以上押し続けてください。 ③火災移報の停止後に、必ず通信テストをして電波状態を確認してください。
本機で火災移報を停止することができない。	本機から火災警報音が鳴動している状態で、火災移報の停止操作をしませんでしたか？	本機が火災警報音を鳴動していない状態で、『警報停止/テスト』ボタンを2秒以上押し続けてください。
本機で火災警報音を停止した際、本機しか警報音が停止しない。	機能設定スイッチ3番(火災警報音停止操作時に火災警報音が停止する機器)が“ON”側になっていませんか？	スイッチを“OFF”に切り替えてください。
本機で火災警報音停止操作をしても連動先の火災警報音が停止しない。	機能設定スイッチ1番(火災警報音)が“無”になっていませんか？	火災警報音“無”設定の場合本機で火災警報音停止操作はできません。
テストしても何も音が鳴らない。	専用リチウム電池のコネクタがはずれていたり、奥まで差し込まれていない状態ではありませんか？ 専用リチウム電池の寿命ではありませんか？ [電池切れ警報]が鳴っていませんか？	コネクタを奥まで差し込んでください。 新しい火災移報アダプタまたは電池と交換してください。
テストすると「ピピピ」と鳴動する。	内部処理中のため、テストが起動できませんでした。	しばらくしてから再度テストをしてください。
テスト結果で「○番 ピピ」と鳴動する。 ※「○番」には、本機の登録番号が鳴動します。	機能設定スイッチ1番(火災警報音)が“無”になっていませんか？	火災警報音を鳴動させる場合は、機能設定スイッチ1番(火災警報音)を“有”に切り替えてください。 ⇒黄色紙【登録・設置説明書】参照
テストすると「99～」と鳴動する。	警報器(親器)に未登録です。	警報器(親器)に登録をしてからご使用ください。 ⇒黄色紙【登録・設置説明書】参照

名称	無線式連動型住宅用火災移報アダプタ	
型名	FS0J001B-S	
㊦ 認証番号	001-A14329	
定格	DC3V 400mA	
電源	専用リチウム電池〔公称電圧：DC3V〕 ・CR17450E-N-2-CN1	
電池寿命	約10年※ ¹	
火災警報音量	1mにて約85dB(火災警報音“有”設定時)	
火災移報接点	無電圧1a接点 無極性〔接点容量：DC50V 100mA〕	
使用周波数 (周波数設定用) (スイッチで設定)	CH1:426.7125MHz(出荷時設定) CH3:426.8125MHz	CH2:426.7375MHz CH4:426.8375MHz
送信出力	10mW	
電波到達距離	約100m※ ² (警報器⇔火災移報アダプタ間)	
連動可能警報器	無線式連動型住宅用火災警報器 FSKJ226/FSLJ016 シリーズ FSKJ223/FSLJ013 シリーズ FSKU218(A)/FSLJ008(A) シリーズ など	
登録可能台数	警報器(子器)と合わせて最大15台※ ³	
機能設定 (下線部、出荷設定時)	・火災警報音の有/無 ・連動テスト時火災移報の有/無 ・火災警報音停止操作時に火災警報音が停止する機器※ ⁴ 感知元以外/操作機器(本機)のみ	
外形寸法 (取付ベース含む)	H120mm×W75mm×D27.5mm	
質量 (電池含む)	約155g	
主材	難燃性ABS樹脂	
色	ナチュラルホワイト	
使用温度範囲	0～40℃(結露しないこと)	
取付場所	壁面	

※1：電池寿命は、使用温度や電波環境などの外部環境や使用条件によって短くなる場合があります。

※2：電波到達距離は、障害物のない場所での水平見通し距離が約100mです。使用場所の環境や住宅の構造・建材などにより電波到達距離は短くなります。

※3：警報器(親器)との登録が必要です。

※4：火災警報音“有”設定時のみ設定が可能です。

6 廃棄について

- 本機や電池を廃棄する場合は、分解したり加圧変形させず、市町村により定められたルールに従って廃棄してください。(付属の電池は水銀を含みません。)
- 電池を廃棄する場合は、電池の保護フィルムをはがさず、コネクタ部分に絶縁性のあるテープなどを巻いてください。また、金属片など導通性のものと一緒に廃棄しないでください。絶縁状態にせずに廃棄すると電池がショートし、発火、破裂の原因となります。